

緩 和 ケ ア 便 り

平成29年4月21日(金)に平鹿総合病院 緩和ケアチーム 平成28年度活動報告が行われました。その概要と報告会の様子をご報告致します。

【プログラム】 17:30～19:00

- (1)平成28年度 緩和ケアチーム活動概要報告
緩和ケア外来のお知らせ
- (2)苦痛のスクリーニング実施状況報告
- (3)鎮静処置の同意書に関する説明
- (4)DNARの同意書に関する説明
- (5)平成29年度の行事予定
(緩和ケア研修会、勉強会について)



平成28年度 緩和ケアチーム活動報告

薬剤師/中島範子

- 介入患者が86人となり、平成27年度と比較して24人増加した。また、介入科も拡大した。
- 訪問診療やホスピス・緩和ケア病棟への紹介など、病院内にとどまらない活動ができた。
- 平成27年度と同様に、医師・薬剤師・看護師のみに限らず、理学療法士・作業療法士・栄養士など、多職種者の介入が増え多岐にわたる患者の苦痛に対応できた。
- 今後は、スクリーニングを活用し、早期からの緩和ケアチーム介入を行うことで、患者さんや家族の希望する場所での療養を支援したいと考える。

緩和ケア外来について

看護師/奥山奈穂子

1月より緩和ケア外来を開設した。入院中緩和ケアチームが介入した患者さんの希望があれば、外来で継続して支援できる。当院外来受診中の患者さんや、院外から緩和ケア目的で紹介された患者さんにも対応可能。痛みやその他の症状、気持ちのつらさに対しても対応できる外来。毎週水曜日(10:00～12:00)、完全予約制。対象の患者さんがいた場合は、緩和ケアチームまでご相談下さい。

緩和ケアチーム往診報告

薬剤師/遠藤智子

平成28年度から緩和ケアチーム(医師・緩和ケア認定看護師・薬剤師)と訪問看護師、保険薬局の薬剤師など多職種協働で往診を開始。昨年度は3事例に往診を行った。患者・家族の療養の場の選択肢拡大に繋がった。

苦痛のスクリーニングについて

医師/武田郁央

- 緩和ケア委員会メンバー、及び病棟・外来スタッフの協力のお陰で、「苦痛のスクリーニング」が、がん患者さんを受け持つ全ての病棟で実施されるようになった(感謝!)
- スクリーニング後の対応は、各部署でだいができるようになっているが、依然、取りっぱなしになっていることが見受けられる。質問表は緩和ケアチームで週に1度はチェックしているが、病棟のスタッフが用紙を回収する際に判定し、対処できると理想的(課題)
- スクリーニング陽性で緩和ケアチームが介入した患者さんの86%で、4点以上の心の苦痛を伴っていた。精神科の常勤医や臨床心理士のいない当院においては、緩和ケアチームや病棟スタッフによる心のケアが、今後ますます重要になると思われた(課題)

鎮静処置の同意書について

看護師/武石優子

- 鎮静を実際に行う前に患者、家族、医師、看護師等で話し合わせ、他の医療従事者とのカンファレンスなどで十分な検討を経ることが必要です。
- 鎮静の説明・同意書の入力と出力…文書入力→部門緩和ケア→緩和医療における鎮静処置の説明・同意書。

勉強会のお知らせ

- 2017年10月7日(土) 8日(日) 日本死の臨床研究会
- 9月16日、17日(日) 平鹿総合病院緩和ケア研修会
- **緩和ケアセミナー開催予定!** 6月より系統的に緩和ケアを学べる学習会を定期開催する予定です。近日中に案内を配布致します。沢山の方の参加をお待ちしています。

痛みや症状コントロールなどのご相談がありましたら、緩和ケアチームへご連絡ください。